

2022年 各クラスの抱負

今のクラスで過ごせる時間も少なくなりました。
目標に向けて「突き進め・頑張れ・輝け・1年生！」



常識を疑ってみる

国語の授業で論説の学習をしました。その中で実際に論説を書いてもらいました。おもしろい作品を二つ紹介します。

嘘をつくの本当に悪いことなのか

1年1組

嘘をつくという行為は、一般的にやってはいけないこと、悪いこと、というふうになされてきた。幼いころから、親にもそう教わって育ってきた。しかし、嘘をつくという行為は、本当にいけないことなのだろうか。

そこで私は、嘘の種類に着目し、次の事例について考えてみた。

一つ目は、待ち合わせの場合だ。遅れてきた友達に、「ごめん、待った？」と聞かれたとき、本当はすぐ待っていたのに、「私も今来たところだよ。」という嘘である。

二つ目は、料理を作ってもらったときのことだ。出てきた料理が苦手であった場合、正直食べたくない。でも、作ってくれた人の気持ちを考えて、笑顔で「美味しいよ。」と言う思いやりの嘘である。

このように見てくると、時と場合によって、嘘をつくのも悪いことではない、ということがわかる。この二つの場合なら、嘘をついた方がいいのではないだろうか。

嘘をつくのは悪いことに違いない。しかし、誰もが本音だけで話していたら、言い争いばかりである。嘘の中にも「傷つけないための嘘」、「救うための嘘」、「喜ばせる嘘」などがある。生きていく中で嘘は必要不可欠である。だから、私は、嘘をつくことが悪いことだけではないと考える。

まめな手洗いによる不健康のリスク

1年2組

手を洗う、その行為は私たちの身近にある必要な行動の一つだ。特にコロナ禍の今は、誰もが一日に何度も何度も、手を洗っていることだろう。だが、何度も手を洗うというのは、本当にすべての人にとって、よいものと言えるのだろうか、私は疑問に思った。

そこで私は、手洗いの問題点に着目し、それを調べてみることにした。すると、こんな答が出てきた。「手が乾燥する」だ。え、そのくらいならいいじゃん、と思う人もいるかもしれない。だが、これは人体に悪影響を与えるものなのだ。以下はその事例である。

私の友達のS君は乾燥に弱く、冬などは手を真っ赤にしていた。そんな中に訪れたコロナ禍。当然S君も手洗いを心がけ、欠かさずに行っていた。やはり手の乾燥はひどくなり、薬を塗るほどになってしまった。薬を塗っても、すぐ手を洗うようにと先生からは指示が出され、手はなかなかよくなるなかった。その結果、S君は手洗いを度々避けるようになってしまったのだ。

このように見ていくと、何度も手を洗うことによって、手の乾燥が進んでしまうことがわかった。それが逆に、手を洗うことを避けさせ、感染予防にも悪影響を与えてしまうのだ。

手洗いは必要な行為に違いない。しかし、それをやり過ぎると、かえって不健康につながるおそれがある。だから、適度な手洗いを心がけるべきであろう。

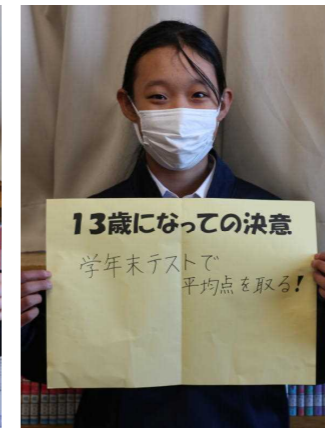
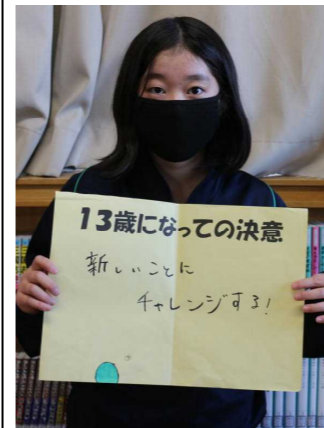
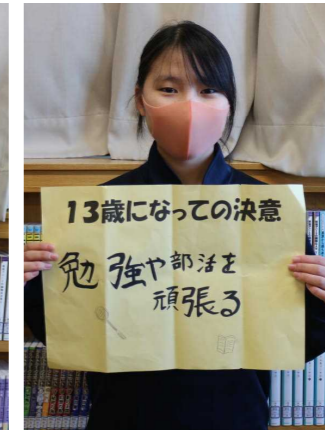
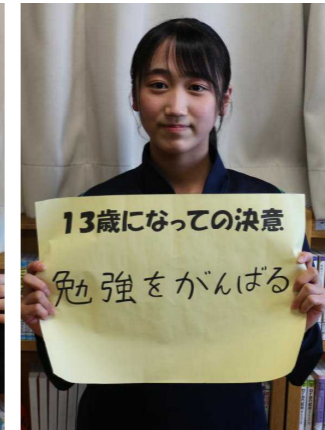
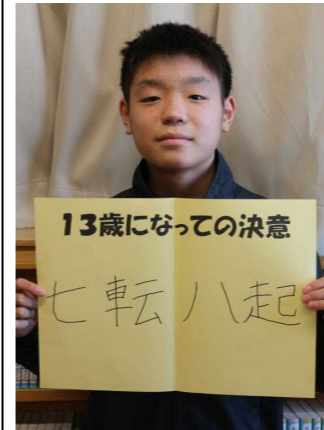
スキー体験教室について

先日の説明会でお伝えしたとおり、3月2日から4日までの3日間に延期となりました。実施の可否は感染状況に左右されてしまいますが、準備については滞りなく進めています。



Happy Birthday!

1月生まれのみなさんです。おめでとう！



※欠席等で撮影できなかった人は次号で紹介します。



青学年の活躍 (敬称略)

第52回上尾地区書き初め展

特選 … 優良 …

第62回埼玉県小・中学校児童生徒美術展

入選 …

